

【両仲間地区（豊福南部）】で集落営農学習会が開催されました！

令和3年8月2日

○令和3年7月13日に両仲間公民館にて宇城市主催のもと「集落営農推進に向けた学習会」が開催されました。

豊福南部換地区の両仲間地区の機械利用組合を集落営農組織に発展させ、古くなった農業用機械の更新と地域の活性化を目標に国営事業推進委員と機械利用組合員が中心となって開催されたものです。

国営宇城地区において地元営農者からの要望により開催した学習会は今回が初めてとなります。

本学習会には、両仲間地区と近隣の竹崎地区から合計15名の方が参加され、宇城市から農地の集積・集約、水稻生産コストの低減、これに係る国営事業における集積・集約率等の目標値が説明され、これを達成するために集落営農組織の設立が不可欠だとの説明がありました。また熊本県からは集落営農組織の設立手順について資料映像を交えた説明を行い、当事業所からは区画整理の円滑な進捗に向け、事業へのご協力をお願いしました。

学習会では、「集落営農とは」という段階ではありますが、本事業に対する期待や農業に対する不安、または儲かる農業の事例紹介の要望など様々な質問や意見が交わされました。

両仲間地区は1年後の営農組織の設立を目指しています。本地区が営農組織設立のモデル地区となるよう、国、県、市が一体となって全力で集落営農の組織化に向けた取組を進めていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

～学習会の様子～

